第35回 ネットワークミーティング in 京都

NWM新聞

作成者：第35回 ネットワークミーティング in 京都 実行委員会
発行元：カトリック青年連絡協議会
http://catholicyouth.jp/
E-mail : info@catholicyouth.jp

2018年9月22～23日、第35回ネットワークミーティング（以下、NWM）in 京都が開催されました。

北は北海道、南は鹿児島まで、139名の青年（他、スタッフ32名）が参加し、宮津市（京都府北部）にあります「京都府立青少年海洋センター マリーンピア」を会場としてお借りし、海の京都ならではのプログラムを行いました。

今回のテーマは「むすんで　ひらいて」。

プログラム①では【班の仲間とのむすび】を意識しながらの活動でした。身体を動かして、声をかけ合うことで班の仲間と関わる時間をたくさんもつ内容にしました。

プログラム②では、プログラム①で班の仲間とむすんだものをひらくことと【自分とのむすび】を行いました。プログラム①や休憩時間など、班の仲間と関わって気付いた相手の良いところを「なぜそう感じたのか」を1対1で伝え合うということをしました。普段は相手に伝えないことを言葉にして目を見て伝えることで【相手へのひらき】を、そして自分で思う自分とまわりから見える自分を知ることで、さらにより深く【自分とむすぶ】プログラムでした。

プログラム③は黙想の時間をもち、【神さまとのむすび】を考えました。聖書を読み、「主は水辺に立った」の聖歌のように海辺へ行き、神様が私たちに仰っていること、自分と神さまとの関係を見つめ直す時間でした。前日のプログラムで班の仲間と、自分と、「むすんで ひらいた」ことを元に、自分はどういう人なのか、社会の中でどう生きていくことができるのかなどひとりひとりが考え分かち合いをしました。

2日目は朝7時半からレクリエーションをするという京都教区らしさもありました。スタッフの予想以上に青年が参加をしてくれ、朝早くから走り回る声で起きて途中参加をした青年もいてとても嬉しかったです。

参加した青年が自分自身と向き合い、キリスト者としてどう生きていけるのかについて考えるきっかけとなる集いになっていれば幸いです。今回のNWMはテーマ「むすんで ひらいて」のとおり、たくさんのむすびとひらきをプログラムにいれました。NWMが終わった時点で全てひらけたわけではなく、今後の生活にひらいていけるように、という願いをこめていますので、日常生活の中でたくさんひらいてください。（小林 まゆか）

ネットワークミーティングとは…

カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今かかえている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

当日の様子

9/22（土）

14:00 集合・受付

14:30 オープニング

「いいね！」4 件

15:00 プログラム①

「いいね！」72 件

Taisei Hamaguchi　プログラム①では、参加者の皆さんがまずお互いを知り仲良くなることで“むすぶ”ことを目標として考えました。

　施設内のチェックポイントを移動しながら最近興味のあることや好きなものについてお互いが伝え合い、自己紹介や他己紹介を行って、お互いを理解し合うなどを行いました。また人間知恵の輪やピクチャーバイブルを再現した写真を撮るなど、協力して作業をすることで交流を深めることが出来ました。人間知恵の輪では参加者の皆さんがお互いここを通って！こっちに来て！など協力し合い、短時間で解くなど班のみんなの距離が縮まっていたのではないかと感じました。

　このプログラムを通して、自分と他者を“むすんで”さまざまなことを行うことができて良かったと思います。2 日間という短い時間の中でお互いを理解し仲良くなって“むすぶ”ことが出来ていたのであれば良かったなと思います。

— 参加者のコメント

kyoto　知らない人とこんなにはなしたのははじめて。

Hiroshima　インスタ映え(ピクチャーバイブル)をみんなで協力してやることは、新しい感じで印象的だった。

Nagasaki　人間知恵の輪ができなさすぎておもしろかった。

Nagasaki　初めて出会った班の人と仲良くなるきっかけとなった。

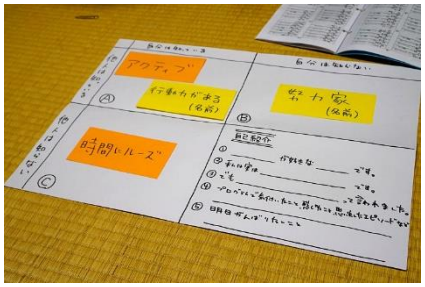
17:00 インフォメーション

「いいね！」13 件

— 参加者のコメント

Nagoya　他教区の活動内容を知れて、今後の青年会の活動の参考になった。

19:15 プログラム②



「いいね！」86 件

Yoshikazu Hirano　プログラム②では、普段見ないふりをしてしまいがちな自分と向き合い、ワークシートや分かち合いを通して「自分との結び」というものについて考えました。性格の内側に一歩踏み込むよ

うな内容ではあったので、スタッフ同士で実際に何度も行い、気になる点は納得がいくまで話し合いました。

参加者の皆さんには、NWM でたくさんの人と交わり、その中で見つけたお互いのいいところを伝え合うことで、改めて自分を見つめ直すことの大切さを感じてもらえたかと思います。相手にいいところを伝えるのは少し照れくさいですが、言葉にして伝えることは大切なことです。言葉をもらった人がその言葉を通して自分と出会う。その連鎖で少しずつ、自分と「むすんで」周りに「ひらいて」の輪が広がっていってほしいと思っています。

— 参加者のコメント

Sapporo　短時間ではあったが、プログラムの意図が明確で、濃密な時間を過ごすことができたから。付箋を使って文字に残す形だったのが良かった。

Tokyo　今までにない「自分との分かち合い」ができて良かった。

Yokohama　結んで開いてがしっかりと表されていたから。班の分かち合いがとても深まったから。ジョハリの窓のこんな使い方があるんだという気づきがあったから。

Kyoto　大人になった今、そういうことをすると、新しい発見が多かった。

Fukuoka　周りから見た自分に気づけたから。

Nagasaki　自分のことを再発見・新発見できたから。自分の弱いところ、ネガティブな想いを少しでもポジティブにして行きたいと思いました。

※「いいね！」は参加者アンケートの「印象に残ったプログラムは？」の統計結果、参加者のコメントは所属教区とその理由です。

21:40 夕の祈り

「いいね！」39 件

— 参加者のコメント

Sapporo　テゼの雰囲気が良かった。

Tokyo　分かち合いと祈りを普段行ってる教会、人ではなく、日本中の人と行いたくて、NWM に参加したから。

Tokyo　交流会の前にテゼの歌を歌って心を静められたのが良かった！

Kagoshima　人数が多いにもかかわらず、一体感を感じられる雰囲気だった。

22:00 交流会

「いいね！」49 件

— 参加者のコメント

Yokohama　地方の 20 代がひとりもいない教会に所属する青年の悩みを聞けたこと。その悩みを通して自分がこれから何を目指すのか、教会として解決しなくてはいけない課題が何なのかを考えるきっかけになった。

Kyoto 知らん人と知り合えたし。

9/23（日）

7:00 レクリエーション

「いいね！」10 件

8:40 プログラム③

「いいね！」85 件

Satoko Hamaguchi　プログラム③では、神さまと自分とのつながりを見つめ直し、日常生活においてじぶんを“ひらいて”いくことについて考えました。

神さまと向き合うために行ったのは、黙想。カトリック教会において大事にしているものでありながら、あまりしたことのない青年が多かったため、このプログラムを通して経験できたことが、青年たちにとって実りあるものになりました。また、自然豊かな宮津の環境が活かされ、海辺で波音を聞きながら心を落ち着かせる青年の姿が多く見られ、より良い経験ができたとおもいます。

分かち合いでは、イエスさまからの呼び

かけがどんなものであるか、またどのように答えていきたいか、一人ひとりが自分の思いを語りました。難しい問いかけに頭を抱える姿も見られましたが、少しの不安と希望を分かち合うことができました。

— 参加者のコメント

Sapporo　初めてちゃんと黙想をしました。自分を見つめるとても良い機会でした。

Tokyo　きれな浜辺や豊かな自然の中で、交流や黙想ができた。

Yokohama　班で分かち合いも行いながら、一人で神さまと向き合う時間もあって、すごく良かったです。

Nagoya　静かに黙想をしてイエス様と向き合うことができ、貴重な時間となりました。わかち合いもそれぞれの想いを聞くことができて、深いわかち合いができて良かったです。

Nagoya　自分とゆっくり向き合うことができました。最近バタバタしていることが多く、自分や周りの人のコトを考えたり振りかえる時間がなかったので、とても良かったです。たまには自分とじっくり向き合う時間も大切！！

Nagoya　黙想の時間を設けてもらえたことで、自分とイエスさまの関係を改めて考える時間がつくれたことに、喜びを感じました。班の人とたくさん話すことができたことで、自分と相手との結びをこれからも大切にしていきたいです。

Nagoya　まだ 3 回しか NWM に参加したことがありませんが、今回特別に黙想、自分と向き合うことにしっかり時間をつかっていたので、こうした祈りと分かち合いの NWM もとてもいいと思いました。

Hiroshima　自分と向き合う機会があまりない日常で、この機会を通して自分と向き合い、班の人たちと分かち合えてよかったです。

Oita　神様と自分との関係を自分の中で認識できた。このプログラム③は、普段の生活に帰っても短い念祷として続けていきたい。

10:30 ミサ

「いいね！」49 件

— 参加者のコメント

Tokyo　御ミサの司教様の「ボーっと生きるなよ！」のお話、とても良かったです。

Yokohama　司教様のユーモアを交ぜたお説教がとても分かりやすく、すんなりと心の中に入ってきました。

Osaka　司教様のお説教が印象的だった。いままで「広く」沢山の人と関わることに注力してきたが、今まで出逢ってきた人たちとこれからは「深く」お互いを理解できるように、神さまのお力を借りながら、関わっていきたい。ボーっとつっ立っていました。すみません(笑)

Hiroshima　今まで教会や教区の人達として歌ったことのない歌を全国のみんなとひとつになって歌ったことに感動した。「あっ、みんなも知っているんだ」と思い嬉しかった。

Kagoshima　今回の NWM はとても人数が多いにもかかわらず、一体感を感じられる雰囲気だったと思います。

13:30 グランドフィナーレ～解散

— 参加者のコメント

Niigata　班の皆との自己紹介、他己紹介をはじめ、皆と結ばれることから、最終的に自分を見つめ直して、自分と神様が結ばれることにつながっていくことまでの流れがすごく良かった。

Tokyo　一つ一つが良く準備されていて、居心地の良さを感じたため。互いと自己をよく知り、深みへと導かれていくプロセスが良かった。

Tokyo　プログラムは、一貫して「むすんで ひらいて」をテーマに自分を見つめたり、他人を知るという内容で良い時間をすごすことができました。

Nagoya　初めてといっていいくらい教会、キリスト教について考えて自分についても向き合うことが出来た。

Takamatsu　プログラム②③とミサのお説教がつながっていて、とても充実した NWM でした。普通だったら、プログラムで完結してしまうけど、その先までがあったので、真剣に取組み良かったと思いました。

参加者アンケート

NWM を通じて得た気づきは？

Sapporo　人それぞれの良いところがあって、それを素直に言葉にしてみたりすると相手の発見に繋がって、それがまた自分を見つめるきっかけにもなって、自分にも発見が生まれて…っていうループってめっちゃポジティブで良いな！

Tokyo　人は自分が思っている以上によく見てくれていて、周りの人達が自分を見てくれている。その目が神様が仲間を通しても自分を見てくれているのかと思いました。

Yokohama　自分が見つけた相手のいいところで、相手が知らなかった部分の発見につながり、喜んでもらえたこと。人から言われたことでそうだと思わないようなことも自分を表してくれていること。

Kyoto　初めての NWM 参加で、今まで話したことのなかった京都教区の人はもちろん、たくさんの地域の人と話ができて良かったです。みなさんがイエス様の存在を印象がそれぞれでも、「ずっと一緒にいる」という点だけはどの人も共通していたのが印象的で、それもみんなとみんな、みんなとイエス様の"むすび"の１つかなと思いました。プログラム③でたくさん勉強させてもらったので、これからに活かせたらなと思います。

Hiroshima　人との出会いの中から神様の存在をみいだすことができた。

Takamatsu　ボーっと生きていくのをやめる。

NWM の感想を一言！

Tokyo　今回はグループの中をよく知ることができた。それはやはりプログラムの組み方にもあるのかなと思った。最後にやはり神(イエス)さまとの結びにつながり、自分の方から近づき呼びかけるイエスさまの姿に日々倣っていけたらと思う。

Tokyo　特にグループ同士でもっと知り合って、自分のことにももっと気付き、そして神さまとの対話の時間もいただいたから心がいっぱいになった感じです。

Tokyo　むすんではまだまだ今後も続いていくので、たくさん思い出すと思う。

Yokohama　スタッフの皆さんがテーマに込めたメッセージがとても伝わってくる NWM でした。班の仲間と結ばれて、イエス様、神様とも結ばれて新しい自分にも出会えて、充実して楽しくて幸せな 2 日間でした。

Nagoya　スタッフの皆さま、おつかれさまでした！！とても楽しく、実りのある時間を過ごすことができました。この出会いやつながりを自分だけのものにすることなく、多くの人にひらいて行くことができればなと…していきたいと思います！！

Kyoto　京都教区の青年の企画力は最高でーす！！！

Hiroshima　初めて参加したので、最初は戸惑ったけど、全国の同じ信仰を持った人と、普段は話さない深い所まで語り合えて、本当に新鮮で嬉しかったし、なんか勇気をもらえました。

Nagasaki　いつもは出会えない教区の青年、神父様、シスター方と出会い、意見を分かち合える場は力になるなと感じました。自分の生活の中でどう生かしていけるのかじっくりとお恵みを味わっていきたいです。

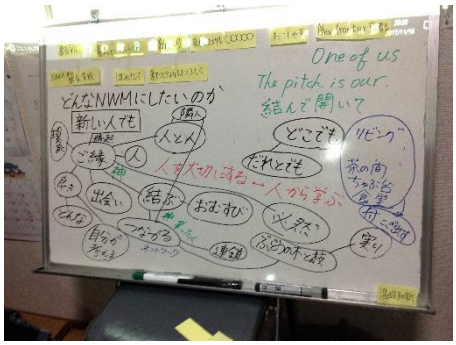
Kagoshima　海に近く、自然が豊かな環境で過ごせて楽しかったです。

スタッフより

Kyota Ikeda　僕は今回初めての NWM で初 staff だったので、不安と緊張しかなかったですが、プログラム①の時点で不安と緊張が、楽しいという感情に変わっていました。今回 NWM に出会えたことを感謝して次も参加したいと思いました。

Hitomi Okayama　3 回目の NWM スタッフでしたが、今までで一番「伝えたい」気持ちが強い NWM となりました。参加者のみなさんへ、一緒にスタッフとして頑張る仲間たちへ、そして神様へ。自己満足かもしれませんが、それが誰かに伝わっているといいなと思っています。大切な時間をありがとうございました。

Nozomi Okuno　「むすんでひらいて」というテーマでつないだ 2 日間。時間を追うごとに，みなさんの考えが深まっていっていたなら幸いです。全国の仲間，そして素晴らしい京都教区の仲間を結んでくださった神様に感謝です。ここから，ひらいていけたらと思います。ありがとうございました。



Tsuyoshi Okuno　北部？丹後？宮津？海？そのような場所に、全国から 170 人も集う。NWM が持つそもそもなる力を感じました。参加してくれた人達が、何かしらにむすばれ、それらを通してこれからの各々に、ひらかれていって欲しい。今回の NWM を通して、それを願い、祈っています。1 年間、共に歩んだスタッフの皆、参加して下さった皆、見守って祈って下さった皆、素晴らしい機会を与えて下さった神様、本当に有難う御座いました。

Toru Kuriyama　京都での NWM でまたスタッフをやらせてもらいました。テーマ「むすんでひらいて」のもと、全国の青年が集い、普段の生活や青年活動から個々の経験、信仰までを分かち合える場になったと思います。NWM で得た体験や気付きをこれからの生活に“ひらいて”いけたら良いですね。2 日間ありがとうございました！

Mai Kobayashi　今回 NWM にスタッフとして参加して、参加者との繋がりはもちろん、スタッフ同士の繋がりも深めることができました。神様によって、集められたこのメンバーで「参加者の皆さんにとって実のある NWM に」と、考え続けられたこと嬉しく思います。

Miki Kobayashi　NWM は人との出会いや神さまを通して、「気付き」が得られる場所。そのような NWM に、久しぶりの京都教区の皆さんと共にスタッフとして関わり、今回も参加者の方のたくさんの「気付き」の瞬間を感じることができ、嬉しく思っています。

Miyuki Shirahama　NWM のパワーというか、魔力を感じた回でした。熱い思い、しんどさ、癒し、そこに巻き込まれたくないなど、当日や参加者も含め色々な感情が織り重った物だったんだと感じています。やっぱ、それが魅力なんやなぁ…三十路を過ぎた NWM は自分と他者と向き合った時間となりました。充実した日々をありがとうございました。

Noriko Hashimoto　今回、ほとんどミーティングに出席できず、不安が多い中で当日を迎えましたが、たくさんの人に助けられ、近頃大人数での集まりを億劫に感じていた私は、自分がどれほど周りからの愛に生かされているのか気付かされました。そしてそれらは、本当に神様のお恵みによるものであることを実感しました。本当に素晴らしい時間を過ごすことができ、心から感謝しています。ありがとうございました

Shotaro Yamada　私は今回、皆が頑張って作り上げてくれた NWM の仲間に入れて頂いたという感じが強いですが、それでも、皆が一生懸命取り組み、力を注いでいる NWM をそばで感じられ、またスタッフとして役割を頂き、参加でき、何より参加者が心から喜んでくれている姿をみて、とても感動しました。改めて、このようなカトリックの青年の全国規模でのイベントの大切さを感じました。ありがとうございました。